

## 避難所環境の充実にも

市内の公立小中学校に設置した自動販売機には、見守り基地局を設置予定です。また、避難所環境の充実も目的としており、大規模災害が起きた時には、避難者に自動販売機内の商品が無料で提供されます。今後、日特スパークテックWKSパークにも設置する予定です。



なお、小中学校に設置した自動販売機は、児童生徒が在籍する時間は、飲料が購入できないよう設定されています。夜間や休日に学校の体育館やグラウンドでスポーツ活動などをする時に利用できます。

自動販売機の売上の一部は、子どもたちの見守りに役立てられます

皆さんも飲み物を買って、見守りに協力しませんか？



市内小学校の体育館で活動する皆さん

デジタル技術で、子どもの見守りを強化

## 見守り基地局に近づくと、位置情報を記録



市内の公立小学校に通う児童に見守り端末機を配布し、1校区内につき20~40カ所に見守り基地局を設置します。見守り端末機を携帯した児童が、見守り基地局の近くを通過すると、見守り基地局が反応し位置情報が記録されます。GPSのように子どもの居場所を常時確認することはできませんが、登下校時に特定の場所の通過情報を毎日記録することができます。記録された位置情報は、有事の際に警察に提供されます。

この見守りは、今秋、「子ども110番の家」が始まった今渡北小学校区と、その隣の今渡南小学校区で開始し、その効果を検証しながら、順次市内の全公立小学校で実施していきます。

### どんな機器が使われるの？



#### 見守り端末機

- ・利用を希望する児童に無料で配布
- ・お守り型の袋で携帯しやすい
- ・ランドセルに入れたままで利用できる

#### 見守り基地局

- ・各小学校に1台ずつ設置予定
- ・協力していただける「子ども110番の家」を中心に無料で配布
- ・校区内のコカ・コーラ ボトラーズジャパンの自動販売機にも、必要に応じて設置



## 子育て世代の安心づくり

# 始まります！新しい「子どもの見守り」。

総合政策課

「可児市に住む全ての子ども、子育てに励む保護者の皆さんに安心して生活してほしい」、その思いで、市はこれまで、全国初となるいじめ防止条例の制定、児童生徒用1人1台タブレットPCの導入など子育て世代の安心づくりを推進してきました。

また、「子ども110番の家」の発祥地でもある可児市では、小中学生が安全に登下校できるよう、日々多くの地域の皆さんが見守ってくださっており、地域全体で子どもを育て、子育て家庭を支える取り組みが定着しています。

今年6月、市はこれまでの「子ども110番の家」の活動にデジタル技術を取り入れ、子どもたちの見守りをさらに強化するため、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、株式会社ottaと「見守りサービスの導入に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、今後、順次始まる「新しい「子どもの見守り」」について紹介します。

### 企業との連携による新しい見守りの実現

子ども110番の家など地域の協力



自動販売機の設置  
見守り機器の費用負担

見守りシステムの提供

ことを受け、「子どもたちを守る有効な手段はないか」と、今渡北小学校PTAが中心となり、警察や学校の協力のもと、「子ども110番の家」の活動が始まりました。

平成8年3月に始まった「子ども110番の家」は、令和4年4月時点で市内に607件、県内で1万9699件、全国で約150万件・全国共に令和3年3月時点と、全国に広がりしました。

平成6年4月、羽島市で小学2年生の児童が、下校中に命を奪われる痛ましい事件が発生しました。その時期、市内でも子どもが不審者に追い掛けられるなどの事案が起きていた



このマークが目印！

子ども110番の家  
可児市から全国へ普及

小中学校の通学路で見掛ける「子ども110番の家」の表示。登下校中などに、知らない人に話し掛けられるなどして、不安や危険を感じた場合に、子どもたちが駆け込み、助けを求められる事業所や民家を示しています。